

安中公民館だより

令和8年6月 第2号 安中公民館発行 TEL: 382-7641 Fax: 382-7261

Eメール ankou@city.annaka.lg.jp HP: http://www.city.annaka.lg.jp(カラーです) 〒379-0116 安中市安中3799

和やかに敬老会開催



写真(上) 市長・議長・県議・市議らの来賓をお迎えして三宅勉社協安中支部長に小菅邦夫老連会長の謝辞が述べられました。



第2部のアトラクションは、紡ぎJAPANによるコンサートをお楽しみいただきました。左はうぐいす姉妹ほかの「青森民謡ショー」、右はケーナ、尺八とギターによる「竹笛の調べ」です。



これは何のヒナ？

5月25日(月)、2階和室ベランダに鳥の巣があり、ヒナがいました。

物音がすると、親鳥からのエサをもらおうと、大きく口を開けてピーピー鳴いています。

公民館の周りでは、碓氷川の近くなどツバメもよく飛んでいます。このヒナはちょっと違うようです。

(2ページに答え👉)



4月16日(木)9:30～
安中市文化センターにて

写真(右上) 作文を読んでもらった安小生5人と萩原宏明安小校長、三宅勉支部長

安中市社会福祉協議会安中支部主催で、安中地区敬老会が開催されました。

第1部では来賓の祝辞に続き、安小生から祖父母への感謝の作文に、会場は和やかな雰囲気になりました。



もくじ

P.1 敬老会の報告

P.2 各種行事の報告

P.2-3 主催教室・ふれあい学級募集

P.4 もっと知りたい☆あんなか学

「安中藩藩校・造士館の学者たち」

☒安中公民館は「ぐんまクールシェアスポット」です☒☺

「クールシェア」とは、暑い日に公共施設で涼しく過ごし、家庭のエアコン使用を減らそうという趣旨です。

期間は6月から10月31日までの平日、時間は9時30分から16時までです。小学生以下の子どもさんは保護者の同伴をお願いします。その日の利用状況により使えない時間帯もありますので、お問い合わせください。

明日に架ける橋

西毛広幹道「碓氷川橋」と中宿「湯の入橋」



左岸側に吊り上げられる橋桁の一部



橋桁のメイン部分は設置完了

5月26日(火)10時30分、安中地区区長会では、碓氷川橋への550トクレーンによる橋桁架橋の視察をしました。施工主安中土木事務所と施工業者川田工業(株)のご厚意により、市議会建設常任委員会所属議員と一緒に視察ができました。

99mの橋桁のうち、メイン部分は既に600トクレーンで設置済みで、この日は碓氷川左岸(上野尻側)に脇の部分を設置する作業でした。

来年1月までには右岸(南地区側)へも設置が完了するとのことでした。

昭和初期の橋の写真

4月～5月に学習の森で、企画展「写真で見る昭和の安中」がありました。

そこでは、つり橋の昭和橋(昭和3年完成・現所在地よりも西側)や、七曲橋(昭和6年完成)の写真が展示され、とても懐かしい風景を見ることができました。



九十九川では、中宿・湯の入橋の橋桁が設置完了(2月撮影)



昭和橋 (上)
七曲橋 (右)



公民館の鳥🐦と花🌸



表紙の鳥のヒナの親は、ハクセキレイ(白鶺鴒)のようです。スズメの仲間で、よく地面の虫や草の種を食べながら走り回るので、「ロードランナー」の異名があります。



6月2日には、公民館の裏側で、オスのキジがアオダイショウの頭を攻撃してやっつけたものの、重くて運ぶのに難儀していました。北側駐車場に移動すると、カラスも来ましたが、どちらも重くて諦めたようです。



5月には、公民館の西側駐車場に、メスのキジもいました。



ど根性な草花

アスファルトから花咲く
ビオラ↑とヒメツルソバ↓



主催教室 「高齢者の右脳を若返らせる英会話！」シーズン3

対象者：おおむね65～80歳の人 英語が話せない人

日時： 9月： 3日、10日、17日、24日

10月： 1日、 8日、15日、22日

11月： 5日、12日、19日、26日

各【木曜日】15時～16時

場所：安中公民館 講義室

講師：金子 文雄 先生 (前橋市出身)

金子 ユディット 先生 (ハンガリー出身)

【秋間地区在住のご夫妻】



桜の花の表現を覚えた春シーズン

- 「歌」とジェスチャーで「右脳」を刺激しながら、楽しく英会話を覚えます。
- ふたりともアメリカの大学で学び、文雄先生はダートマス大学の日本語講座で8年間教え、ユディット先生とともに高崎でイングリッシュ・アカデミーを運営されました。
- 講座の終わりには、ユディット先生のチェロ演奏があります。

定員：16人 (この教室のみ6/25(木)受付開始)

参加費：無料

★主催教室・ふれあい学級(学社連携事業)受講生を募集します★

7月2日(木)午前8時45分から講義室にて受付(先着順・おつりの無いよう)

夏休み「レジン」教室

「シーグラス・アクセサリー・やぷっくりシールを作ろう！」

対象者：安中地区在住者(安小1～3年生は保護者同伴)・未就学児は不可

日時：7月22日(水)10時～11時30分

(7月23日(木)10時～11時30分 申込者多数の場合)

場所：安中公民館 講義室

講師：鈴木 ゆき 先生(レジン作家)

定員：〈1日につき〉10人 材料費：800円

作るもの：①ヘアゴム②キーホルダー③ぷっくりシールのどれかを選んでください。

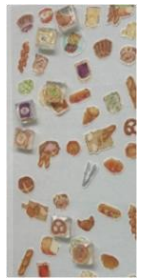
※シールは、好きなものを持参してください。

※レジンに服につくと落ちないため、汚れてもいい服装でおいでください。

②

③

①



夏休み子ども習字教室

対象者：安中小学校1～6年生(2年生以下は保護者同伴)

日時：7月24日(金)9時30分～11時30分

場所：安中公民館 図書室

講師：吉田 マリ子 先生

定員：15人

参加費：無料 ※ 習字道具・半紙・墨汁・お手本・新聞紙をお持ちください。

夏休みの課題対策に!



夏休み子ども理科教室

「牛乳パックからハガキを作ろう！」

対象者：小学校3～6年生

日時：7月28日(火)13時30分～15時30分

場所：安中公民館 講義室・調理実習室

講師：影森 徹 先生(早稲田大学本庄高等学院副院長)

定員：20人 材料費：200円

用意するもの：空の牛乳パック2本分

※表面の印刷物をはがしてお持ちください。



夏休み子ども絵画教室

対象者：安中小学校1～6年生

日時：①班 8月4日(火)・5日(水) 9時30分～11時30分

②班 8月4日(火)・5日(水) 13時30分～15時30分

場所：安中公民館 図書室

講師：小島 千佳 先生

定員：30人(1班・2班 各15人)

※ 学校の課題プリント、描きたい絵の資料があればお持ちください。

材料費：500円 ※絵の具・画用紙等、画材はすべて公民館で用意します。

夏休みの課題対策に!



主催教室・ふれあい学級 申込書

キリトリ

※申込書は公民館にもあります。

教室名	おなまえ(フリガナ)/学年	住所	備考
<input type="checkbox"/> 英会話教室(6/25から受付)	(フリガナ)	安中市	無料
<input type="checkbox"/> レジン教室(ヘアゴム・ホルダー・シール)			材料費 800円
<input type="checkbox"/> 夏休み子ども習字教室		電話番号	無料
<input type="checkbox"/> 夏休み子ども理科教室	(年)		材料費 200円
<input type="checkbox"/> 夏休み子ども絵画教室			材料費 500円

安中藩の学者たち 太山融齋・添川廉齋・山田三川・佐々木愚山



盥盤(かばん)之記

幕末の安中藩は、藩主板倉勝明の文武両道の方針のもと、藩校造士館に多くの学者を招きました。このたび発刊された「令和版安中ふるさと人物辞典」を元にその代表的な4人をご紹介します。

江戸時代に地球儀を制作した

太山 融齋 (おおやま ゆうさい) 1794(寛政6)～1863(文久3)

常陸国安中(あんじゅう-茨城県常総市)生まれ。名は誠、通称呉一郎。

江戸浅草の町儒者から、天保9(1838)年に安中藩に召抱えられ、藩士子弟や領内村民の教育に力を注ぎました。

西洋事情にも明るく、嘉永5(1852)年には地球儀を制作しました。

愛宕神社の「盥盤(かばん)之記」の掛軸や、「小学入門」「読書余論」「対問余興」「新樗噺草」など多くの著書があります。

新島襄の漢学の師

添川 廉齋 (そえかわ れんさい) 1803(享和3)～1858(安政5)

会津生まれ。18歳で江戸の古賀穀堂の門下となり、のちに京都の頼山陽に学びました。篠崎小竹の推挙により、安中藩主板倉勝明から「賓師」の待遇を受けました。

勝明が亡くなった際には、弟勝殷の命により勝明の伝記「甘雨公行状畧」を著しますが、本人も勝明の後を追うように翌年亡くなりました。

新島襄の漢学の師として蘭学と漢学の両立に悩む新島に漢学の大切さを教えたことでも知られます。

藩財政のために100万本の漆園

山田 三川 (やまだ さんせん) 1804(文化元)～1862(文久2)

伊勢国平尾村(三重県松阪市)生まれ。通称三郎。

江戸に出て昌平黌に学び、舎長になりました。水海道に住んだのち、嘉永5(1852)年に安中藩に召抱えられ、代官・奉行等を歴任。藩主板倉勝明の信任も厚く、実学に精通した能吏でした。

領内に漆(ウルシ)100万本を植え、漆産業を興して藩財政と領民の暮らしを良くしようとしました。しかし、植樹の翌年に大雨で苗木が流れ、勝明と三川が相次いで亡くなり、実現には至りませんでした。

造士館と白鳥洞の門下生に4人の衆議院議員

佐々木 愚山 (ささき ぐざん) 1823(文政6)～1896(明治29)

陸奥国虻田村(宮城県石巻市)生まれ。本名 溥(ひろし)。足利学校訓導ののち、安中藩に仕え、藩校造士館で儒学を教えました。

明治維新後は、榛名山麓の本郷村に私塾白鳥洞(はくどう)を開き、後に衆議院議員となる宮口二郎、木暮武大夫、真下珂十郎、萩原鎌太郎、東京高等師範学校教授中島信虎など多くの人材を輩出しました。

昨年4月の大手拓次研究会「薔薇忌」で講演した吉永哲郎氏はその子孫です。 館長 島崎佳宏

参考資料 「令和版安中ふるさと人物事典」

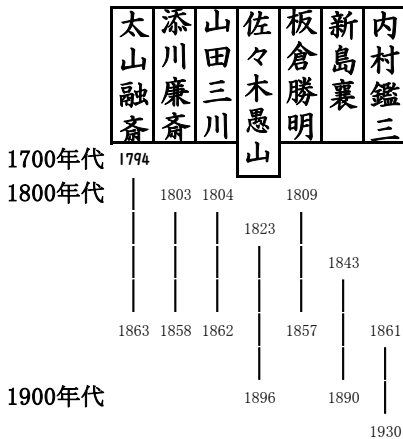
安中市文化財課

佐々木忠夫著「佐々木愚山とそのルーツ」から



「太山融齋の地球儀」レプリカ(学習の森所蔵)

偉人たちの生きた年代



漆園の記の碑(新島襄旧宅北)



佐々木愚山肖像画と

本郷神社(旧榛名町)にある顕彰碑